



平成 30 年 11 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・スリーホールディングス  
代表者名 代表取締役兼最高管理責任者 長倉 統己  
(コード：3647 東証第二部)  
問合せ先 管理部マネージャー 佐藤 一樹  
(TEL：03-5781-2522)

## 当社による太陽光発電所の売却に関するお知らせ

株式会社ジー・スリーホールディングス（代表取締役社長兼最高経営責任者 奥田泰司 以下、「当社」という。）は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、販売用資産として保有する太陽光発電所の売却を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 太陽光発電所の売却の理由

当社は、平成 30 年 4 月 11 日付「当社子会社による太陽光発電所用地の売却に関するお知らせ」により、当社の子会社であった株式会社エコ・ボンズ（以下、「エコ・ボンズという。」）が販売用資産として取得していた滋賀県に所在する太陽光発電所用地に関して、滋賀県から林地開発許可が得られたことから、平成 30 年 8 月期において、当該太陽光発電所用地の売却を行う旨を公表しております。

また、当該太陽光発電所用地に存在する太陽光発電所 2 カ所（合計約 5,500 キロワット相当）については、平成 30 年 9 月 14 日付「平成 30 年 8 月期業績予想（通期）の修正に関するお知らせ」により、平成 30 年 8 月期での売却を見込んでいたものの、台風等天候不順の想定を超えた影響による工事完工の遅れにより、売却時期が平成 31 年 8 月期第 1 四半期にずれ込んだことを公表しております。

このたび、当該太陽光発電所 2 カ所について、施工業者による工事が完工したことから、売却先 2 社に対して、各太陽光発電所に係る設備認定及び発電事業者の権利、並びに太陽光電池モジュール及び周辺機器等太陽光発電商材の売却を行うことといたしました。

当該太陽光発電所の特定、及び売却先の概要は、各売却先の意向により公表を控えさせていただきます。

なお、当社とエコ・ボンズは、平成 30 年 7 月 26 日付「連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関する」にて公表しているとおり、平成 30 年 9 月 1 日付で、当社を存続会社、エコ・ボンズを消滅会社とする吸収合併を行っております。

## 2. 太陽光発電所2カ所の概要

(1) 設備名称	滋賀県に所在する太陽光発電所2カ所（合計約5,500キロワット相当）となります。 当該太陽光発電所2カ所の特定は、各売却先の意向により公表を控えさせていただきます。
(2) 所在地	
(3) 売電価格	
(4) 認定容量	
(5) 設備出力	
(6) 売電開始日	

## 3. 太陽光発電所売却先2社の概要

(1) 名称	売却先2社の概要は、各売却先の意向により公表を控えさせていただきます。	
(2) 所在地		
(3) 代表者の役職・氏名		
(4) 事業内容		
(5) 資本金		
(6) 設立年月日		
(7) 純資産		
(8) 総資産		
(9) 大株主及び持株比率		
(10) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	2社のうち1社につきましては、平成30年8月期第3四半期において、当社子会社であったエコ・ボンズとの間で当該太陽光発電所用地の売却取引を行っております。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

## 4. 売却価額 1,755百万円（税別）

## 5. 売却日 平成30年11月30日（予定）

## 6. 今後の見通し

当該太陽光発電所につきましては、当社子会社である株式会社エコ・テクノサービスは、運用会社に対してO&M（発電所の保守・運営・管理）サービスを提供することを予定しております。

本件による平成31年8月期における当社連結業績への影響は、平成30年10月15日に公表した平成31年8月期連結業績予想に反映されております。

当社グループは、本件を通じて収益力を一層高めるとともに、再生可能エネルギーの利用促進、環境負荷低減への貢献等の観点から環境問題への取り組みを推進し、社会への貢献を図ってまいります。

以上

(参考) 当期連結業績予想 (平成 30 年 10 月 15 日公表分) 及び前期連結実績

(単位 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
当期連結業績予想 (平成 31 年 8 月期)	6,263	971	816	547
前期連結実績 (平成 30 年 8 月期)	3,605	839	712	439